

全国海運組合連合会
第331回理事会議事録

開催日時 平成29年3月15日(水) 12:00～13:35

開催場所 神戸・三宮東急REIホテル 3階 ボールルーム

議 題

1. 平成29年度役員推薦要領、
並びに 平成29年度部会及び委員会委員推薦要領に係る件
2. SO_x規制(燃料油中の硫黄分規制)に係る件
3. 暫定措置事業資金収支実績に係る件
4. 第6回内航海運活性化に向けた今後の方向性検討会に係る件
5. 大型フィーダー専用コンテナ船(転用)の取り扱いに係る件
6. 内航主要オペレーター輸送動向(1月実績値)に係る件
7. 第155回砂利船部会並びに第146回輸送部会審議状況に係る件
8. その他

定刻、事務局より過半数の理事の出席を得て本理事会は適法に成立した旨報告し、定款の定めにより藤井会長が議長となり、直ちに審議に入った。

議題1. 平成29年度役員推薦要領、並びに 平成29年度部会及び委員会委員推薦要領に係る件

議長の指示により、事務局は大要以下の通り説明した。

本件、昨年11月29日開催の総務委員会です承頂き、提案するものである。

基本的には前回改選期(平成27年度)の推薦要領と同様の内容である。

理事については平成29年4月1日現在の所属組合員数を基に算出される議決権数の人数を推薦頂くこととなる。

但し、三連合会については調整理事を含めて前回と同人数の推薦を頂くこととする。

部会委員・委員会委員についても前回改選期同様、現在就任組合に対して同人数の委員の推薦を頂くこととする。

議長は、以上の説明に対し意見を求めた処特になく、了承された。

議題 2. SO_x規制（燃料油中の硫黄分規制）に係る件

議長の指示により、事務局はSO_x規制に係る現在までの経緯につき、大要以下の通り説明した。

- ・平成28年10月24日～28日まで開催されたIMO（国際海事機関）の委員会で、船舶からの硫黄酸化物排出基準を2020年度から0.5%以下とすることが決定された。
- ・総連合会は、危惧される問題点等を取り纏め、平成29年1月27日、海事局長宛要望書を提出した。
- ・国交省は、情報の共有化が重要との認識から、内航業界、外航業界、旅客船業界、船用メーカー、造船業界等で構成する「燃料油環境規制対応方策検討会」を立ち上げ、平成29年2月28日第1回目を開催した。
- ・総連合会は、今後専門的な見地から迅速な対応を図るため、内部に「SO_x対策専門小委員会を設置し、当連合会から河菜理事、並びに藏重・宇部興産海運(株)執行役員技術部長に参画して頂くこととした。

議長は、以上の説明に対し意見を求めた処特になく、了承された。

議題 3. 暫定措置事業資金収支実績に係る件

議長の指示により、事務局は大要以下の通り説明した。

今年度は、事業者各位の旺盛な建造申請のお陰を以て、納付金収入が111億71百万円と大幅に伸び、借入利息、事務費、次年度上期返済原資等を差し引いて81億91百万円を政府保証の返済に充当した。

この結果、本年3月末に於ける借入金残高は247億80百万円となるものである。

以上の説明の後、議長が意見を求めた処特になく、了承された。

議題 4. 第6回内航海運活性化に向けた今後の方向性検討会に係る件

議長の要請に基づき、藏本理事（副会長）は大要以下の通り報告した。

今回は「船舶管理会社の活用」を中心課題として、事業者からの意見表明が為された。

（詳細は国交省ホームページご参照）

意見表明の中で、特に、船舶管理会社に係る活用促進の具体案が提示されたが、これまで普及が進まなかったことを考えると、任意での登録ではなく、船舶管理を

行う者は一律に義務づけを行うようなことを考えてほしい。また、内航海運事業者は船舶管理において部分管理を求めているという実態を踏まえると、今後の検討において、船舶管理会社は「船員配乗・雇用管理」、「船舶保守管理」、「船舶運航管理」を一括して管理するものという現在のガイドラインでの定義についても見直しを検討いただきたい。更に、みなし事業者と船舶管理会社との関係についてもしっかりと整理いただきたい、と主張した。

更に、これまでの主な論点整理が行われ、船員の確保・育成、船舶建造等の課題について、関係者全体で問題意識を共有し、取り組み体制の構築として産業基礎物資の鉄鋼、石油、ケミカル等の品目毎に、荷主企業、内航海運事業者（オペ・オーナー）、行政等により構成する「安定・効率輸送協議会」を設置する。

また、海運モーダルシフトを一層推進するため、「海運モーダルシフト推進協議会」を設置する、等が示された。

その他、海上運送法及び船員の一部を改正する法律案、並びに Sox 規制に関連する資料が参考として提示された。

以上の説明の後、議長が意見を求めた処特に無く、了承された。

議題 5. 大型フィーダー専用コンテナ船（転用）の取り扱いに係る件

議長の指示により、事務局は大要以下の通り報告した。

本件は、釜山など極東港に流出している日本輸出入コンテナを国内港に取り戻し、国際コンテナ戦略港湾政策を着実に推し進めていくため、内航フィーダーコンテナ船の大型化は急務の策として、外航コンテナ船を内航転用するに際し、5,000GT 以上船に限り建造納付金の免除規定を復活して欲しいという内容のものである。

以上の説明の後、議長は、499GT、749GTを主体に内航フィーダーに従事している事業者もあり、本提案を容認することはこれら事業者への影響が大きいことから、当連合会としては容認できないとの結論で総連合会に回答したい旨提案し、異議無く了承された。

議題 6. 内航主要オペレーター輸送動向（1月実績値）に係る件

議長の指示により、事務局は大要以下の通り説明した。

貨物船は、紙・パルプ以外は前年を上回り、前年同月比5%増となっている。

油送船は、ケミカル・特タンは堅調なれど、黒油は電量旬需要の落ち込みで2桁ダウン。全体で5%減となっている。

品目別は以下の通り。

鉄 鋼：建設用が伸び110.4%、自動車用も好調なれど、荒天による輸送障害もあり5%増に留まった

自動車：登録車の販売が好調、5%増。

原料：石灰石の減少が続く一報、鉄スクラップ、スラグ、非金属鉱が増加し、2%増。

セメント：前年は需要低迷で係船があったが、今年は無く、1%増。

燃料：石炭が冬期の電力需要で火力発電所向けが堅調で5%増

紙・パルプ：段ボール・古紙が堅調も、新聞紙が低迷し、6%減。

雑貨：玉葱などの輸送や一部フェリーのドック入り等で貨物が増加、7%増。

黒油：低温で農業用A重油需要や、西日本地区でバンカー需要があったが、電力向け転送需要が減少、更に荒天の影響で12%減。

白油：寒波で灯油需要は旺盛なるも、荒天による輸送障害で4%減

ケミカル：荒天による輸送障害があったが、転送や輸出向けベンゼン等が堅調で、7%増

特タン船

高压液化：LPGなどが堅調で5%増

高温液体：アスファルトが好調で22%増

耐腐食：苛性ソーダ等1%減

議長は、以上の説明に対し意見を求めた処特になく、了承された。

議題7. 第155回砂利船部会並びに第146回輸送部会審議状況に係る件

議長の要請に基づき、昨日（平成29年3月14日）開催された両部会の審議状況につき、松田理事（砂利船部会長）並びに河菜理事（輸送部会長）は大要以下の通り報告した。

【第155回砂利船部会（松田部会長）】

砂利船部会では3件の要望事項が提案されたので、検討頂きたい。

1. 船員不足は勿論だが、特にガット士不足で困窮している。日本人以外の船員の導入は困難との意見を頂いているが、ガット士だけでも何とか再検討頂きたい。
2. 暫定措置事業は36年度に収束するとしており、その間、33年度に規程の見直しを行うとなっている。ガット付船舶を建造するにも、ガットは現在注文しても3年後の出来上がりという状況であり、出来上がった途端に見直しという事になってしまう。従って規定の見直し時期をもう少し早めて頂きたい。
3. トラック分野については各種の助成金・補助金が施されているが、環境に優しい輸送手段である船舶への補助金・助成金は余りにも乏しい。船舶への補助金・助成金制度の研究・要請をして頂きたい。

以上の要請に対し、議長は内航海運活性化PTにて検討していきたい旨提案し、了承された。

【第146回輸送部会（河菜部会長）】

- ・ 暫定措置事業の規定解釈について種々説明があり了承した。
- ・ 主要オペ60社の輸送動向報告を受け、輸送状況について意見交換を行った。

以上の説明の後、議長が意見を求めた処特に無く、了承された。

議題8. その他

議長の指示により、事務局は大要以下の通り報告した。

全海運の今後の会議予定である。従来理事会については第3水曜日に固定していたが、今後は適宜設定させて頂くこととした故、ご了承願いたい。

また、11月17日（金）に理事会を設定させて頂いた関係から、事務局研修会を10月27日（金、於：京都）に前倒し設定している。

なお、事務局各位から開催地について種々希望が出され、東京、金沢等各地を検討したが、来年度は赤字予算を編成せざるを得ない見通しでも有り、最安値の京都に決定した。

京都はオフシーズンとは言え宿泊手配が困難であることから、各位には事務局に対する出張指示を早めに出して頂きたい。

以上の後、議長は全体を通して意見を求めた処、特になく、全ての議案審議が終了したことから、本理事会の議事録署名人として議長の他、寺岡副会長並びに原田副会長を指名し、謝辞の後、13：35閉会を宣した。

以 上